



8月号

長崎青年協会会報

発行 長崎市魚の町7-7 (社)長崎青年協会 会長 吉野信義

編集 広報委員長 福田穂積



長崎青年

協会憲章

我々は、会員の
団結と相互扶助の
精神の基に、自己
の建設と会員の親
睦を図り、もって
地域社会の発展に
寄与することを目
的とする。



七月例会

とき 昭和六〇年七月二十二日
ところ レストラン チザン

○吉野会長挨拶

本年度は国際青年年と云うことで世界的に青年が、世の中の為に何が出来ると一生懸命に模索をし活動しておりますが、我々も長崎県が主催しております、国際青年年実行委員会に参入しております。その大きな事業の一つ、IYY長崎フォーラムが七月七日に行なわれました。私は、このフォーラムにパネラーとして出席、長崎の若い皆様方と大いに意見交換を致しました。又、8月4日・5日には、同じくIYYの24時間ラジオが行なわれます。我々もこの参入団体としてあるポジションを担当することになっておりますので積極的なご協力をお願いします。尚8月4日は市民大清掃であります、この時も我々の清掃の場所に24時

間ラジオのマイククロフオンが参りますので我々の掛声で一斉に市民大清掃が始まりますので、この大清掃の方も宜しく願いたい。本年度は被爆40周年という事で、事業委員会が、7月28日にチャリティバザーを催します。特に若い会員の方々は今年初めての大きな事業ですので全員の出席をお願いしたい。本日は、この被爆40周年の関連事業として、平和会館の内田先生を講師としてお願致しております。ご自身が被爆者であり、平和推進協会のお仕事をされております。我々もこの被爆40年に関して、もう一度、被爆或いは平和について、考え、話し合っていきたいと思えます。どうぞ、最後までご清聴よろしく願ひ申し上げます。

講師のプロフィール

○昭和4年11月21日、南高来郡生、その後すぐに長崎に移る。

○昭和31年10月、長崎市役所水道局入り、その後、都市計画に10年、56年から国階文化会館参事として現在に至る。

講師講演

長崎市国際平和会館
参事 内田 伯

今日の読売新聞に「メリーちゃん、平和を見つめ」というのが、実は青い目の人形が載っていたわけですが、これは野口雨情作詩の「青い目の人形」が全国で歌われたのが昭和2年であります。その頃は、アメリカ生れの小女人形が日本に二、三〇〇位送り込まれました。世界的にいろんな子供達の為に世界児童親善会が送ったのですが、当時の世界の

人々の善意にも拘らず、日本は残念ながら戦争への道を選ぶことになったわけですから。その為に、世界の平和は子供から、と云う理想に基づいた理念が戦争の為に全く潰されたばかりでなく、敵製人形として、それぞれ当時の小学校に飾ってあった人形が、校庭に引張り出され竹槍などで突刺され、炎の中に投げ入れられた人形の悲劇があつたわけです。今日この事を考えた時、世界の善意を、もし日本の国民が本当に子供達の素晴らしい心を支持していたならば戦争への道も食い止められたのではないかと、実に戦争に翻弄されながらも辛うじて生き延びた人形の話であります。

世の中には、様々な悲しみが有りますが、中でも、言葉を失うと云うことに勝る悲しみは有りません。様々な危険が人を襲いかかりそして、その危険が、か弱い子供達の生命を奪っていくのが戦争でもあつたわけ

クレサンペール藤岡
●車検●保険

(株)藤岡石油店

浦上給油所

TEL44-7138

会員名 鳥井正臣

和洋酒・食料品

森山酒店

築町3番8号
TEL(22)-4772・(22)-0892

会員名 森山茂

和洋酒・瓶・缶詰

太田酒店

鍛冶屋町6番3号
TEL(23)-3433・(22)-3403

会員名 太田勝良

総合設計産業
一級建築士事務所

不動技研工業(株)

水の浦町78
TEL(61)-7940

会員名 吉野信義



であり、第二次世界大戦が
終った時、我国では多くの
人々が親や子を失い、住む
家もなく、飢えに苦しんで
いたのであります。

今、世界には色んな暴力
がはびこり、世界は暴力の
病に冒されていると言って
も過言ではありません。そ
して何よりも許し難いのは
日本が経験して来た、あの
忌わしい出来事にも拘らず
決定的な非人道的行為であ
る核兵器による人類崩壊の
聞ゆが迫って来ると云うこ
とを、ひしひしと感じるの
であります。

ソ連の研究者である、米
国の元駐ソ大使ジョージ・
ケラン氏は歴史上唯一一人、
恐るべき核攻撃の犠牲とな
った国民の手、その手は現
代の戦争の危機に対して、
警鐘を打ち鳴らし、他の国
々が破滅の断崖すれすれに
近づくことのない様、どん
な国民、国家にも勝る権利
を備えていると言っている。
これは、日本の国際的役割
を高く評価しているのでは

り、私達は日本が世界の国
々と仲よくする為には、や
はり平和以外にはない、と
云う気持であります。



講演中の内田参事

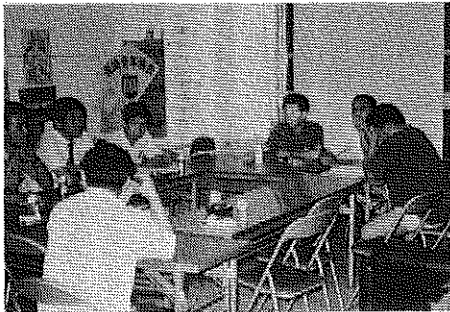
国際文化会館の中にある
子供達の感想ノートの中で
子供達はこのような事を書
いています。

こんな悲惨な時代に私達
生まれなくて良かった、本
当に自分の血は母親に心か
ら感謝しなければならぬ。
お父さん、お母さんに有難
うと云いたい。と云う風な
事を書いていきます。初めて
自分が生まれているこの平
和の豊さの中に酔いしれて
育っている子供達は、全く
自分を反省するそう云う場

所がないのです。しかし、
不思議にこの国際文化会館
の中には自らをかえり見る
子供達が増えてきているの
です。

とにかく、世界平和だけ
でなく、平等・人間の尊厳
を基本的に価値感として学
びあえる実際の場所、それ
が国際文化会館、長崎でな
ければならない。世界の指
導者としての新しい平和を
考えてゆかなければならな
いと私達は考えます。

第2回 地域社会開発
セミナー開催!



昭和60年7月25日、事務
局に於て午後7時よりテー
マより魅力的な観光長崎
の討論会が行なわれました。
出席者は9名でしたが、多
数の意見が出て、一人一人
が、それぞれの立場で、本
当に、どうしたら良くなる
のかと、意見を出しあい盛
り上がりしました。「レジャー
施設の開発：毎年でも来た
くなるような施設」「地元
も利用出来るレジャー施設
：楽しむ観光」「受け皿の
充実（宿泊施設・道路・標
識等）」「ビッグなイベント
県外の人達にスムーズに分
かる様な標識、観光地全体
を結ぶプロムナードとプロ
ックごとに名称をつける」
「名所旧跡・祭・味覚（レ
ジャー的な祭・イベント）、
観光関係者の再教育、市民
全体の観光客に対する接し
方、官民一体の盛り上げ」
「観光客誘致の努力改善：
市民性の改良、より開放的
に一人一人がガイド役に」
等、又、具体的には、「出
島の再現：別な場所、例え

(有)井口建具アルミ店

松山町4-51
TEL(47)-3003

会員名 榎原弘光

エッソ石油(株)代理店

朝日石油(株)

TEL(61)-5757

会員名 椎木亮一

(有)山徳興産

大浦町8-38
TEL(22)-4397

会員名 山下泰生

引出物・贈答品・記念品
Kumazawa
TEL(0958)22-3555

会員名 熊沢悟



ば魚市場跡に出島を復現して蘭船の係留』『自治会単位での史跡発掘、案内、市民ガイド、電車賃の電停明記』これは事業として、石油缶等にペンキを塗り、吸殻入れを作り、電車賃等を明記して配布したらどうかとの意見』等が活発な意見として、観光の為のデータを集取』『アンケートを取る。(但し、観光が済み、帰路につく人達から)』

最後に、長崎の観光を考える場合、県と市が別々に行動を起すのではなく、同じ場所でも市民も参加して、考え、検討し、実現して欲しいものである。

今度、このセミナーに参加して感じたことは、改めて自分が観光地長崎に生活して、改善すべき反省点が多く有るということでした。

広報委員会 福田穂積



「IYY青年フォーラム」

第4回豊かな郷土づくり 対話集会開催

国際青年年を記念して、県央地区を中心に県下の青年が集い、長崎県の将来と青年の役割について討議し、実効ある具体策を提言する。という趣旨のもと、昭和60年7月7日(日)の七夕の日に

長崎県・長崎県教育委員会・長崎県国際青年推進委員会・長崎県国際青年実行委員会・長崎県青年団連合会の主催で10時より長崎県建設総合会館において開催されました。

長崎青年協会は、会長の吉野信義君がパネラーとして参加し、「21世紀の長崎と青年の役割」というテーマでパネルディスカッションを行いました。その後昼食・休憩後、分科会では四つのグループに分かれ、第2分科会の助言者として吉野君、司会者に事業委員会の江村大洋君が担当して「国際化」というテーマで

討議致しました。

午後4時30分、盛会のうちに終了致しましたが、吉野君、江村君とも大任を果たし、青年協会の名を挙げたものと確信します。

吉野信義君、江村大洋君御苦労様でした。



役員会報告

森山副会長

7月7日、午前10時より午後4時半までIYY青年フォーラム県央大会が長崎県総合建設会館で開催。

8月4日・5日に24時間ラジオが実施、松ヶ枝浮頭では、A・R・Bロックコンサート、モーターショウがあり、このチケット五〇〇円の販売も宜しく。

IYY基金、アジア・アフリカ難民救済との事で貯金箱五〇〇ヶが我々協会に依頼されていますので、今年12月までに集めて基金に寄附することになっていきます。

8月4日は市民大清掃ですが、我々協会は市民病院前附近で、JCも近くを担当、NBCラジオのスキッピーで市民大清掃のスタートを我々協会とJCの合同で合図を致します。

わたぼうしのコンサートが今年で最後となりますのでチケット一、八〇〇円の販売を宜しくお願い致します。

委員会報告

総務委員会

会費の前納を宜しく。

昨年度の広報紙の広告代を滞納している方々は納金をお願いします。

川口光徳君、勝本博文君の葬儀御礼挨拶。

会員開発委員会

新入会員3名の報告

会員交流委員会

家族懇親会を開催。

日 8月18日

於 祝崎郷三浦海水浴場(大村)

集合 市民会館横

時間 午前9時

会費 一家族三、〇〇〇円

食事は用意致します。

研修委員会

7月25日 地域社会開発セミナー開催

於 事務局、午後7時

テーマ「より魅力的な観光長崎」

8月25日 経営セミナー

プラザ会館12時より開催。

福祉委員会

7月14日、平和大清掃が行なわれ、三〇〇名が集まり、大成功でしたが、協会会員の参加が少なく、以後積極的な参加をお願いします。

事業委員会

7月28日、被爆40周年のチャリティーパーカーを開催

8月4日市民大清掃は午前7時半、西部石油前集合

新入会員紹介

平山英則君 総務委員会

昭和33年7月24日生

勤務先 昭英印刷所

住所 富士見町8ノ24

電話 62-2907

紹介者 熊沢 悟君

山口文司君 広報委員会

昭和32年8月31日生

勤務先 塩飽志郎

法律事務所

住所 浜平町50

電話 22-6704

紹介者 熊沢 悟君

森 保博君 会員交流委員会

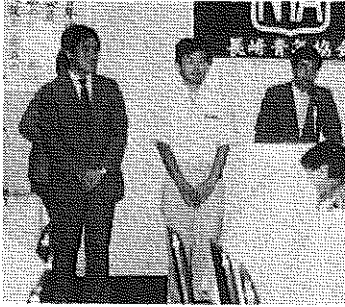
昭和29年1月23日生

勤務先 大進建設(株)

住所 金堀町237ノ157

電話 61-8937

紹介者 田代博昭君



インタビュー

質問事項

質問一 長崎青年協会(以下協会という)についてどの程度奥様が知っていますか。

質問二 協会の活動等についてよいと思うか悪いと思いますか。

質問三 協会の活動において奥様の目で見て今までに一番印象に残った物は何ですか。

質問四 ご主人が入会した事についてよかったですか。

質問五 入会した事により会員がよくなる悪くも変わった点について。

質問六 協会活動と家庭の両立について。

質問七 家族懇親会について。



黒瀬宣子さん (黒瀬勝幸夫人)



質問五

協会活動の中で冷静な考え方ができるようななつたと思います。

質問六

子供会、町内商店会等と行事が重なった時など主人が協会活動に専念できない事がかわいそうに思います。のめり込む性格なので仕事の特異性もあり健康に留意して協会活動に励んでほしい。

質問七

出席率が悪いようですので、折角の機会でもありより多くの奥様方と友人になりたいと思っています。

お知らせ

子供中心の(家の子は球技が得意です)行事を望みます。年に一度の機会であらうどよいと思います。

総評 でき過ぎないように理解のある奥様で家庭円満の様子がかがえます。背景から考えるに黒瀬会員にはもっと頑張れるものと思います。よろしく。熊

被爆40周年

チャリティ・

バザー開催!

7月28日(日)午後一時よりアーケードの三菱銀行前でチャリティバザーが実施されました。会員は40名の参加で盛り上がり、品物も売り切り20万強の収益となりました。この収益金で「恵の丘」へ、ビデオ・TV・移動ラックのセットを贈呈の予定となっています。

お知らせ

%市民大清掃:大浦海岸通 IYY 24時間ラジオ

NBC本館

松ヶ枝埠頭

%ゴルフコンペ

福田C・Cスタート

8時42分

家族懇親会

%経営セミナー



「ナガサキ・アーバン ルネッサンス2000」

プロジェクトの提唱

県都長崎市は、元亀元年（一五七〇）の開港以来、江戸時代に「町建て」という都市計画・都市開発が進められ、国際交流拠点の町としての長崎の基盤が形成された。さらに明治以来造船所の立地により、周辺地域への市街地拡大が進み、工業と貿易・流通を中心とする港湾都市へと発展してきた。第2次大戦の原爆被爆後、長崎北部の復興が行われ、昭和30年代の高度成長期以降山陵を越えて、周辺市町への人口拡散が進んだ。しかし、これらの変遷を経て、市の中心部は、江戸時代の街並みが、そのまま都市構造の骨格となっている。現在、長崎市は、造船、水産、観光、商業の街として多彩な都市活動が行われているが、地形上平地が狭く急傾斜地が多いという制約条件により、都市環境の悪化と都市機能の低

下により、都市としての活力が十分に発揮されない事態に立至っている。

昭和46年長崎県開発委員会から提案された「大長崎都市圏構想」の中で、長崎市の都市機能の一部を広域的視点から、諫早市、大村市及び周辺町に分散・再配置し、都市間をネットワーク等で連絡し、都市圏全体としての有機的な連携を強めるべきであると言う提言に基づき、県では、以後「県央新都市計画」等により、実施・誘導を行い、都市圏周辺の都市整備も進み、人口増、企業立地等所期の目的はかなり達成された。

一方、「大長崎都市圏構想」の中のいま一つの提案であった「都市圏の中心部である長崎市の都市改造」については、一部を除いて殆んど進まず、依然として過密化の増幅、経済的地盤沈下、都市環境の悪化等が続いている。これらの問題を解決し、都市機能が都市環境を改善し、活力と魅力

に満ちた都市を再生することこそ、今日の長崎の緊急の政策課題である。

長崎のまちづくりにとつて、空間の有効な活用と環境の改善は、21世紀の成熟社会に向う長崎市ひいては長崎都市圏の再生にとつて最大にしてかつ最後の好機であるといえよう。

「外への拡大」から「内への充実」を志向し、長崎市の再生、さらには長崎都市圏再生の将来像を見据え、その第一段階であり、中核的なプロジェクトである長崎都市圏・臨海地帯の再編・再開発を進めるべきである。しかも、このプロジェクトは、長崎再生の死命を制するものであり、都市の「機能」「空間」「環境」そして「産業」「文化」の諸面にわたって、再生、活性化が図られなければならない。その為、県においては、長崎市と一体となつて、再開発の為の構想を策定、事業化の推進等に多角的、積極的に取り組んでいくが、これを

総称して「ナガサキ・アーバン・ルネッサンス2000」プロジェクトとして提唱したい。

本プロジェクトを構想し推進しようとする基本的意図は次のような点にある。

第一は、「長崎市の都心、臨海地帯を構成する都市空間の改善」である。この地帯は長崎市の顔ともいえる重要な位置にあるが、そこにある機能や環境は必ずしもそれにふさわしいものとは言えない。長崎の知名度や国内外で評価されているイメージにふさわしい都市として、この地帯の再生を核として、活気のある住み易い長崎の街を長期的、継続的に再構築していこうと考えているのである。

第二は「長崎の産業の体質あるいは構造の再編」である。従来の造船、水産、観光が今日迄の長崎の基幹産業である、しかしいずれも将来に明かるい展開は期待しえない。これらを再編成し、経済のサービス化、高

各種帽子販売



田代帽子店

長崎市銅座町(銀鍋隣り)

☎長崎(0958)22-0816

会員名 田代博昭

海産物・食料品・佃煮・田
卸問屋・一番とうふ・田
舎薬膳・製造元

松本屋

長崎市田中町長崎卸地
TEL(095)8055

会員名 松本直行



松下電工代理店

(株)富士商会

鮑の浦バス停前
TEL(61)9840

五島町5-22
TEL(09)3741

会員名 久保征幸

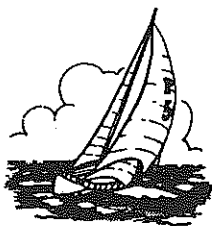
会員名 木藤俊郎



度情報化に対応しうる産業
 体質の強化をめざして、人
 的、交流、情報、文化等に
 根ざした新しい産業の創出
 を図ろうとするものである。
 第三は「長崎市の周辺を含
 めた長崎都市圏さらには長
 崎圏や西九州に地域への広
 域的に波及効果」である。
 現在進められているナガサ
 キ・テクノポリス計画、環
 大村地域開発利用とも相互
 に連携をとりつつ、その中
 での長崎のアイデンティテ
 イを確立し、全体として調
 和と活用のある地域形成を
 図っていくものと考えたい。
 第四は「市民意識の改革」
 である。このプロジェクト
 を「アーバンルネッサンス
 と位置づけ、新しい時代の
 長崎のあり方に市民の参加
 を呼びかけていこうとする
 ものである。

以上のような意図のもとに
 「ナガサキ・アーバン・ル
 ネッサンス二〇〇一」の構
 想案が策定されました。素
 案の内容は協会、事務局に
 置いてある冊子を皆さんで

読んで下さい。そして当協
 会がこのプロジェクトにど
 ういう形で協力していける
 か会員皆さんで考えて行こ
 うではありませんか。
 我々青年協会が参画してい
 る事業にアーバンルネッサ
 ンス2001委員会という
 のがあるのを皆さん御存知
 だと思えます。今日はその
 事業の構想を皆さんにお知
 らせたいと思えます。



IYY 平和と大清掃

7月14日



昼前、平和公園に集結し、
 参加団体の紹介、当日の反
 省会等が行われた。当協会
 からは、松本直行君がIYY
 Y活動のアピールを代表し
 て演説致しました。

協会よりの参加者が少な
 かった事が目立ち申し分け
 ない気がしました。



味で勝負
黒瀬蒲鉾店

千円以上配達致します

賑町3-8
TEL(22)-8643

会員名 黒瀬勝幸

石碑・墓地主事・石材彫刻

のなか石材

長崎市麹屋町5-25
(寺町通り・三宝寺前)
会員名 埜中 孝
TEL 24-6571

全国宝石学協会会員

ジュエリー彩

伊勢町3番10号
TEL(23)-1953

会員名 大石 巖

各種種類製造販売

百武製麺所

龍町5番15号
TEL(23)-2693

会員名 勝本博文

OBコーナー

青年協会への提言

平野晴一

私が青年協会を卒業して早くも三年の歳月が流れました。私は昭和四十四年創立と同時に入会しました。幾多の至難を乗り越えてきた我々OB会員の一人として、今青年協会に思うこと「団体活動の中で己の自覚・責任・義務の低下」を感じます。私は現在三つの団体に籍を置いています。どの団体にしてもそれぞれの目標に向かって多人数の参加を必

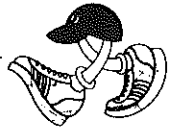
7月例会出席状況

| | % |
|---------|------|
| 役員 | 100% |
| 総務委員会 | 55% |
| 例会委員会 | 65% |
| 広報委員会 | 50% |
| 会員開発委員会 | 60% |
| 会員交流委員会 | 55% |
| 研修委員会 | 70% |
| 福祉委員会 | 40% |
| 事業委員会 | 40% |
| 合計 | 60% |

要としています。しかしながら、執行部が頭を痛めているのが出席率の問題です。私は十年前長崎中小企業経友会に入会しました。以来例会に一度も欠席したことがありません。又、努めて他の会にも出席しています。

私も執行部の一人として如何にしたら出席率の向上が計れるかを考えています。誰しも入会当時は、意欲と希望を持っていた筈ですが、現在戸惑いを感じている会員が少なくないと聞いております。要は本人のやる気なのですが、私は手を差し延べる事も必要と思います。最近の青年協会の活

動に、リーダーシップを取るべき会員の参加が少ないと聞き、残念に思います。新入会員諸君、青年活動とは、「参加ノ行動ノ」あるのみです。今後の青年協会を受け継いで行く責任と誇りを持ち、明日の青年協会を担う会員として頑張ってくださいと願っております。



マロウイン

〒850 長崎市風頭町2番1号
TEL (0958) 28-1111(代)
予約専用 26-9797
TELEX 7523-60
FAX (0958) 28-1122

(有)松浦印刷

八幡町6番21号
TEL(23)-2575

会員名 松浦文寛



東京海上

自動車・火災
その他損害保険

TEL(24)-0705

会員名 小川一朗

第一生命
保険相互会社

長崎市小ヶ倉町3-466-3
岡田ビル2F

TEL(78)-4547

会員名 布施健一



大正海上

TEL(25)-3121

会員名 金子寿英

トラック・バス販売

長崎三菱ふそう
自動車販売株式会社

TEL(45)-2111

会員名 徳本知行

華燭の殿堂
中国料理 京華園

新地町9番7号
TEL(21)-1507

会員名 劉 濟才

システムキッチン・収納家具
サウナ・暖房・店舗アザイン
カーテン・クロス・ジュエタン
新しいライフスタイルの提案

株式会社 アルス

松山町3-77
TEL(45)-7178

会員名 松尾豊明



賑町9番11号賑橋ビル4F
PHONE(25)-2566

会員名 竹中 悟